2021年度NPO法人伊豆in 賀茂6総会　　　　　　2021年6月8日

　2020年度の事業報告ならびに、2021年度の事業計画を皆様にお伝えし、引き続きお支援賜りますよう、お願い申し上げます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　伊豆in賀茂6理事長　井田一久

「2020年度事業報告」

【空き家バンク事業】

新規空き家登録：24件

〈2020年9月～2021年5月〉

　空き家登録件数：48件

　利用者登録件数：178件

　成約数：30件

　移住者数：55人

　推定経済効果：契約1億3415万円

　　　　　　　　所得1億2960万円

＊このように着実に成果が上がっているところですが、空き家登録が少ないことが課題となっています。

【移住相談事業】

　下田市より、2020年10月より移住相談事業が委託されています。

　土日の移住相談を、下田に代わって、静岡県ふれあい事業が中心です。下田市の受託額は75万円程度です（半年分）。

【地域活性化センター交流事業】総額200万円助成　信頼資本財団を活用した寄付あり（20万円ほど）

10月下田インド化計画：参加人数70名

　　インド展（10月17日～11月23日開催）

12月蓮台寺温泉物語：参加人数30名

1月移住者交流会inポーレポーレ：参加人数30名

4月～3月　空き家バンク活用相談会

＊コロナ禍で制限がかかる中、なんとか実施しました。

【コミュニティビジネスアワード2020】

　優秀賞を受賞し、賞金2万円を獲得しました。なお、最優秀賞は該当者がなく、当NPOが最高賞受賞となりました。

【物販販売】

　売上が芳しくないため終了し、いけみかなこグッズのみを、彼女の管理で販売しています。

【持続化給付金、コロナ助成金】

　コロナ助成金を1,210,000円助成いただきました

【持続化補助金】

　補助金を活用し、HPを刷新しました。

【スタッフの補充】

　8月より鳥辺和史さんを、10月より石橋美和子さんに手伝ってもらっています。

　輿水恵子さん、武田真理さんは退職されました。

　お二人には大変お世話になりました。特に輿水さんには、書類、宅建法関係で、当NPOの礎を築いていただき、各種の補助金、助成金が獲得でき、NPO事業に幅ができたのも、ひとえに彼女の力によるところが大きいです。

　また1月より元電通の神健一（こうけんいち）さんに、客員アドバイザーというかたちで、無給でお手伝いいただいております。

「2021年度事業計画」

【空き家バンク事業】空き家バンク相談会（毎月第4土曜日）

【移住相談事業】

　引き続き、下田市より業務委託契約をいただき、活動して参ります。

【移住体験施設「伊豆下田　見晴亭」運営】

　6月4日にオープンしました。1泊18,000円（6名まで）と、ご家族様を想定したい宿泊施設です。下田市の移住助成金の活用が可能です（大人1人1泊4000円の補助金）。

　予約は石橋美和子さん、掃除は石橋さんと井田幸久さんが担当です。

【人事】

　これまで中心になって事業を行ってきた岡崎大五が交通事故のため、12月以来、半年間をほぼ在宅ワークのみで行い、今後も後遺症の影響で十分に業務を果たせないことから、理事の仕事に専念する意向です。

　ついては、鳥辺和史さんをマネージャーに選任し（5月30日決定）、事業全般は、鳥辺さんの指示の下、岡崎はサポートにまわって、事業を展開するところです。今後、トヨタ財団の動きも見ながら、書類作成できるスタッフの増員を考えています。

【トヨタ財団助成事業】

　現在神さんによって、トヨタ財団助成事業の申請を行っています。これは、noteを使ったコミュニティサイトの立ち上げと運営を目指すものですが、すでに内閣府、静岡県では不採択となっていますが、どうしても必要だとの思いから、神さんと岡崎で推進しています。NPOだけでなく、下田市、note、ふじのくに未来財団の共同事業となります。

　以上、6月8日現在の動きですが、今後、新しいプロジェクトの案件（下田市の遊休施設利用、耕作放棄地の有効活用事業、白浜夏季事業の業務委託、ライフル社との業務提携）が、持ち上がっており、総会までに話が進めば、ご報告するつもりです。